

やくも 住区だより NO. 160

☆☆ お知らせ ☆☆

開催中止予定の行事 毎年恒例の下記行事は残念ながら、都合により中止予定です。

パーシモンほたる祭り

主催 パーシモンほたる祭り実行委員会

自転車点検

主催 生活環境部会

八雲小校庭テイクキャンプ

主催 青少年育成部会

八雲小プール開放

主催 八雲小学校開放運営委員会

八雲の夏まつり(盆踊り)

主催 八雲の夏祭り実行委員会

星空映画会

主催 青少年育成部会

新規開設

八雲小学校内学童保育クラブが4月より開設

令和2年4月1日、八雲小学校の中に、八雲小学校内学童保育クラブが開設いたしました。目黒区から事業委託を受けました株式会社セリオが、1月から開設準備を行い、現在、職員8名で運営にあたっております。

4月開設当初から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当面の間は、利用制限を行わざるを得ない状況にあり、子ども達や保護者の皆さんには、大変ご不便をおかけしています。



施設長 鈴木 晋子

子ども達の笑い声が響き渡る本来の学童保育クラブに戻った時には、自分の家に帰ってきたように、温かく安全でほっとする場でありたいと考えています。また、ランドセルひろばへの参加、校庭での活動、室内遊びの充実等を目指します。職員一同、全員の子ども達と楽しく過ごせる日が一日も早く来ることを切に願っています。

これから、八雲住区住民会議の皆様と一緒に、子どもたちの笑顔があふれる街づくりのために活動してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



新任紹介

4月より着任されています。どうぞよろしくお願いいたします。

八雲小学校副校長



山形 美和

八雲住区センター
児童館/学童保育クラブ



館長 木城 利弥



秋山 敏信(児童館)



高瀬 修(学童)

八雲住区センター
運営員



名和 義文



高橋 紀美子

期日前投票に伴う、会議室の利用停止について

八雲住区センターは7月5日(日)東京都知事選挙の期日前投票会場に予定されているため、右記の期間、会議室をご利用いただけません。

- ◆ 6月28日(日)~7月4日(土)
- ◆ 第1、第2、第3会議室

やくも住区だより

No160 令和2年6月発行

発行=八雲住区住民会議広報部会 林 隆志

本誌掲載の行事は住区、町会の掲示板、ポスター、ホームページなどで案内しています。

八雲住区住民会議ホームページ <http://yakumo19.net>



八雲住区住民会議 第35回定期総会を书面開催

新型コロナウイルス対策として、八雲住区住民会議は、参加者や住区メンバーの感染予防を徹底するため、住区活動を最小限に抑え、当面、各種会議や行事を見合わせることにしました。

八雲住区住民会議の第35回定期総会についても、3月発行の「住区だより」にて、5月23日(土)開催をお知らせしましたが、管理運営会議、常任委員会を通して総会開催は見送り、书面開催に切替えることにしました。

総会資料等は5月11日(月)以降、西部地区サービス事務所に備え付け、住区ホームページにも掲載しました。議案に対する賛否等の書面表決は5月30日(土)に締切り、結果は北澤会長より下記のように報告されました。

令和2年度 第35回定期総会の書面表決の結果について

日頃から、八雲住区住民会議の活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。本年度の定期総会は新型コロナウイルス対策として書面開催となりました。5月30日までに届けられた書面表決の結果については、住区の管理運営会議にて以下の通り確認しました。

八雲住区住民会議では今回可決されました事業計画及び予算に基づき、コミュニティ活動に取り組んでいきます。新型コロナウイルスの感染予防には細心の注意を払いながら、創意と工夫を凝らし行事やイベントなどを進めたいと思います。今後ともご協力の程よろしくお願いたします。

議案及び表決 表決総数 90人

(単位:人)

議案	議 題	賛成	反対	無効
第1	令和元年度事業報告について	86	0	4
第2	令和元年度決算および監査報告について			
第3	令和元年度・2年度役員の変更等に伴う追認等について			
第4	令和2年度事業計画案について			
第5	令和2年度予算案について			

結果 すべての議案について、過半数の賛成を持って承認・可決されました。

特記事項 寄せられた表決の中で、特段の意見はありませんでした。



表決結果を報告

お知らせ

11月28日(土)避難所運営訓練に向けて

災害対策部会長 矢野 昭太郎

八雲住区の地域避難所運営訓練は、これまで平均年2回、八雲小と区民キャンパスで時期をずらして実施してきました。今年度の訓練は直下型大地震が発生した場合の実際を考え、よりリアルな訓練とするために、2カ所の地域避難所で同時に(同日、同時間で)実施開催する計画です。それぞれの地域避難所の施設設備、備蓄品、受け入れ体制等がかなり異なるため、その避難所に適した訓練が必要です。

また、今般世界中に蔓延している新型コロナウイルスへの対策として、密閉・密集・密接の「三密回避」の流れもあり、従来の避難所運営訓練での「避難生活」の見直しが求められています。今回の訓練では見直しに完全に対処することはできないかと思いますが、町会、学校、PTA、行政と相談しながら創意と工夫を凝らし、わずかでもベターな避難所運営訓練にしていきたいと思っています。

全てをマンパワーに頼らざるを得ない避難所運営訓練では、2カ所の訓練を同時実施というのは準備も含め大変な取り組みになると想定しています。多くの皆様のご協力を頂いて、実際の大震災の発災を前提とした訓練にしたいと思っています。

コラム

広域避難場所と地域避難所とは・・・

八雲住区のエリアには、災害時の避難先として、①広域避難場所(駒沢オリンピック公園一帯)、②地域避難所(八雲小学校及びめぐろ区民キャンパス・都立桜修館中等教育学校)の2種類があります。

①広域避難場所は、東京都が指定する大規模な公園などのオープンスペースで区内に8カ所あり、地域避難所に火災の延焼の危険が迫った際の更なる避難先となります。

②地域避難所は、目黒区が指定した避難先で、被災により自宅に住み続けることが出来ない場合に避難する施設です。

